

プロジェクト・マネジメント
 第4回 プロジェクトのおかれている環境を考える
 本江正茂
 2009-07-23 (木)

各自の卒業製作、卒業研究のプロジェクトを例として、SWOT分析を行う。
 今のプロジェクトのおかれている環境を、内外から客観的にとらえる。
 何をすれば競争優位に立てるか
 そもそも競合は何か？
 問題と課題の抽出

SWOT分析 プロジェクトの立ち位置を確かめるための分析のフレームワーク

(1)自己分析：プロジェクトの現在の内部環境要因(自分たちでなんとかなること)をあげる
 強み Strength e.g. 経験豊富なスタッフがそろっている
 弱み Weakness e.g. 設備が十分でない

(2)状況分析：プロジェクトの将来の外部環境要因(自分たちではどうにもならないこと)をあげる。
 機会 Opportunity e.g. 資料集が刊行される
 脅威 Threat e.g. ○○さんが留学してしまい相談できなくなる

(3)戦略立案：SWOT分析マトリクスから戦略的な推進目標を設定する
 積極展開戦略(強み×機会)=現在の強みと機会を活かした展開
 差別化戦略(弱み×機会)=弱さを補うポジショニングを探す
 対抗戦略(強み×脅威)=強みで競合に立ち向かう戦略
 守備撤退戦略(弱み×脅威)=勇気ある撤退も視野に入れた守り

(1)(2)では、現状を認識して事実を挙げ、(3)ではこれからなすべき行動を挙げる。

		内部環境要因	
		強み	弱み
外部環境要因	機会	積極展開戦略 現在の強みと機会を活かした展開	差別化戦略 弱さを補うポジショニングを探す
	脅威	対抗戦略 強みで競合に立ち向かう戦略	守備撤退戦略 勇気ある撤退も視野に入れた守り